秋の歩こう会

紅葉の古刹毘沙門堂と山科疎水散策

実施日　11月18日
参加者　32名

久しぶりの「歩こう会」（春は中止）は天気に恵まれた小春日和の温かい日でした。参加された皆さんから自然に笑顔がこぼれていました。

コロナウイルス感染防止のため、全員マスク着用、集合時に検温、手指のアルコール洗浄などをしてもらいました。

毘沙門堂の紅葉は真っ盛りで、撮影スポットでは皆さんスマホやカメラでいっぱい写真を撮っておられました。私も「ここぞ」とばかりに撮りました。でも、写真よりも心に焼き付けられた紅葉の方がきっと美しいでしょうね。

集合写真の撮影では、顔が分かるようにと、一瞬マスクを外しましたが「外さなくてもいい」なんて声があり大笑い。みなさん笑顔で「パチリ!!」

琵琶湖疎水沿いの桜並木の下で昼食にしました。その際もアルコールで手を消毒洗浄していただきました。コロナが終息して「春の歩こう会」が実施できることを念じつつ帰路につきました。

東　マチ子

毘沙門堂勅使門坂道にて

毘沙門堂で記念撮影

勅使門へと続く参道にて

配食サービス事業

実施日　毎月第3火曜日（8月は休み）
対象者　・65歳以上の一人暮らし
・75歳以上の夫婦
・介護を必要とする人とその介護者
費　用　1食　100円

ー ボランティア募集 ー

調理、運転、配達　随時募集しています

問い合わせ　島本町社会福祉協議会　☎962-5417
磯上　☎925-6842　馬場　☎962-9990

冬場の献血にご協力を！！

献血とは、病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんのために、健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアです。

「今」出来ること 配食サービス活動

第二中学校調理室にて

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対応で4月5月は電話による安否確認のみとなりました。

3月より中止していた配食をいつ開始すべきか。部会では感染拡大予防の対策を話し合い、そこまでして配食サービス（調理再開）をするべきかどうか何度も話し合いをし、意見を出し合い、こんなときだからこそ「見守り」の役割りを大事にしたいという意見で一致し、6月より開始することになりました。

まず、中学校玄関先で検温を行い、もちろん手指消毒もします。手袋、マスクを装着しての夏場の調理はとても息苦しかったのですが、マウスシールドを使用することで作業も楽になりました（冬季はマスクに戻しています）。

なるべく、密を避けて短時間で出来るメニューを模索し、その中でも味付け、盛り付けに気を配ります。

約50人分が一度に炊ける釜を2人で持ち上げ、炊き上がったご飯を半切りに移すのですが、それはそれは重く、熱く大変です。そして狭い調理台での作業は腰にもきます。

しかし「楽しみにしてるよ～」「やっぱり業者弁当よりおいしかったよ～」という利用者の方からの声を聞くと、嬉しくなると同時に元気がでます。

コロナの影響で自粛を余儀なくされることが多くなり、外出もままならない状況ですが、出来ないことばかり考えていても仕方ありません。

こんなときだからこそ、何が出来るのか…工夫すれば出来ないことも出来るようになります。ソーシャルディスタンスを保ちながら、人とのつながりを大切にボランティア活動を続けていきたいと思います。

（池尻）

まずは検温

包丁研ぎボランティア

おかまの中もピカピカに

運転ボランティアにバトンタッチ

できあがり

盛りつけ

みちくさ

先日、喉が痛くなり行きつけの医院で受診した。

入口に張り紙があり「熱のある人、咳の人はチャイムを…」という事なのでそのまま入り受付。

待合室には私一人、熱を測ると36.1度。座っていると受付がザワついている。「風邪でしょうか…」等々。

少しして「外の待合でお待ちください」。靴を履き自転車置き場に行くと、椅子とストーブがあった。ストーブをつけ「ここでお待ちください」と言われ、待つこと15分程。

先生が来て、手に持った用紙を見ながら質問をする。「熱は無し。最近都心へ行きましたか？　大人数で食事をしましたか？　コロナを心配していますか？　PCR検査を希望しますか？」等と尋ねられた。全て「いいえ」と答えると「わかりました」と言って、私に指一本触れることなく部屋の中へ。

暫く待っていると薬と領収書を持って再び現れ「では、これを」と渡され、お金を払って帰った。

コロナ感染者が増え続ける今、医療現場も大変だ。コロナ以外の病気で行ってもきちんと診てもらえない事もある。

皆さん、くれぐれも体調に気をつけ抵抗力をつけ、コロナにも他の病気にもかからないようにしましょう。そして、一日も早く、今までの生活に戻れるようにと願わずにはいられない。

濱田